

「霞ヶ浦の魚たちを捕まえてみよう！」を開催しました！

令和元年6月22日(土曜日)に、水生生物とのふれあいを通じて自然の大切さを体感し、霞ヶ浦浄化意識の向上を図るため、自然再生地区H区間で霞ヶ浦に住む植物や野鳥の観察、H区間付近の農業水路でタモ網による魚捕り、I区間で投網による魚捕りを行いました。
[水生生物とのふれあい事業]

当日はライフジャケットを着用の上、特別に自然再生地区H区間に入り、植物の観察を行いました。

フィールドスコープで野鳥を見たり、クイズ形式で植物の種の違いや生き物の巣の違いを学んだりしました。



ハス田沿いの道では、セリの匂いを嗅いでみたり、ハスの葉の特性について学んだりしました。



自然再生地区 I 区間では投網に挑戦しました。



近くの農業水路ではタモ網を使って魚捕りを行い、魚の説明を受けました。



参加者の皆さんからは『あみで魚をとるのがたのしかった!』『魚にはいろいろな種類があるんだと思った』『立入禁止区域に入れて貴重だった』『体験などが多くて、子供達も楽しそうだった』など、たくさんの感想をいただきました。

今後のイベント等の開催に当たっては、皆さんからの声を参考にさせていただきます。
御参加いただいた皆さん、ありがとうございました!